

幸せのまちづくりラボ（仮称） 実施方針について（令和2年12月策定）

福津市では、福津市SDGs未来都市計画（令和元年9月策定）－市民共働で推進する幸せのまちづくりを実現するための主要事業「幸せのまちづくりラボ（仮称）」を事業化するための基本的事項を定めた実施方針の策定しました。以下5項目に分け、実施方針の主な内容に関して、説明します。※事業規模や詳細については、令和3年度以降の予算確定後に決定

1. 幸せのまちづくりラボ（仮称）とは

幸せのまちづくりラボ（仮称）（以下「まちラボ」という）は、市民共働・公民連携によるまちづくりを促進する中間支援組織です。令和3年度からの運営開始を目指し、公募市民によるワークショップ及び共働事業実施部署等と連携し、準備を進めています。

2. まちラボがなぜ必要になったのか

福津市では、第一次福津市総合計画（平成19年3月策定）や福津市みんなですすめるまちづくり基本条例（平成20年9月制定）において、「共働によるまちづくりの必要性」を示し、それを機に地域自治（郷づくり）や学校運営（コミュニティスクール）などにおいて、新たな共働事業をはじめ、複数の事業を継続実施しています。

継続実施からの成果や問題、そして現在の社会動向から、市民共働・公民連携によるまちづくりをさらに促進するためには、「3. まちラボが行うこと」に示すような取組支援を行う中間支援組織が必要であるとの判断に至りました。

4. まちラボが出来ることでの効果は

令和12年度（2030年度）を目標年度として、まちラボの取組みにより、まちづくりに関わる多様な人材の動きへイメージ図（裏面掲載）のような影響を与えることを目指します。

5. まちラボをどのように進めていくのか

(1) 組織体制

裏面下に掲載した体制で、令和3年度から公民連携型での運営開始を目指します。

「まちラボ支援・協力者（※）」として、組織外部の人材・組織等へ相談・依頼ができる仕組みも整え、多様な主体と連携した事業展開を図ります。

※まちラボ支援・協力者：まちラボの趣旨に賛同し、支援・協力が可能であると手を挙げていただいた個人・組織・企業・教育機関等（市内・市外問わない）と定義

(2) 拠点

拠点は福津市ボランティアセンター（以下「ボラセン」という）とします。ボラセンとまちラボの親和性が高いため、相互協力した事業展開をし、近い将来、組織の一体化を図ります。

3. まちラボが行うこと

まちラボは以下3つの支援を行い、市民共働・公民連携によるまちづくりを進める担い手（新しく担い手となる人材も含む）の取組みを支えます。

専門的に支援を行う人材を配置し、丁寧なヒアリングによる支援を基本とします。

1 つなぐ まちづくりに関する必要な情報（※）と出会う支援をします

相談窓口による必要な情報とのマッチング、まちづくりに関する技術等を学ぶ機会や交流・連携の機会の提供等を行います。

※情報：市民共働・公民連携のまちづくりに関する人材、場所、資金、技術、アフェア、経験等の情報と定義

2 つくる 「やりたいこと」「やりたい意欲」から活動実現までを支援します

多様な人材が持つまちづくりに対する「やりたいこと」「やりたい意欲」から活動が具現化するまで伴走します。プロジェクトの組成支援や持続可能なまちづくりの担い手育成等を行います。

3 ひろげる 市民共働・公民連携によるまちづくりの輪を広げる支援をします

ホームページ等の情報拠点の整備、イベントの実施や表彰制度等、オンラインとオフラインの2つの手法を組み合わせながら、まちづくり関連情報を分かりやすく情報発信（収集）します。

また、活動の効果を測る基準として、市民の幸福等に関する意識へ与える影響を行政担当部署と共働で調査・分析し、結果を持続可能なまちづくりへ活かします。

3つの支援を行うことで・・・

まちラボは、福津市のまちづくりに関わる多様な人材にとっての「まちづくりへの新たな入口」「連携をするパートナーとの出会いの場」「まちづくりに関する情報の拠点」となり、以下に示す「役割」を担い、さらには「将来像」を実現することを目指します。

役割	(1) まちの未来共創（※）センター －まちの未来に向けた共創によるプロジェクトの組成・支援を行う－
	(2) 持続可能なまちづくりに関する調査・研究 －「市民共働・公民連携によるまちづくり」と「市民の幸福度等」との関係性を調査・研究し、まちづくりへ活かす－

将来像	持続可能な市民共働と公民連携を行うプラットフォーム（基盤） 多様な人財（※）による共創のまちづくりを促進し、持続可能な市民共働・公民連携を進める中核的存在となり、市民共働・公民連携による人や経済の循環ができる持続可能なまちづくりを目指す
-----	--

※共創：多様な人財が協力して、新たな取組みや価値観などを創り出し、共に活動することと定義

※人財：個人・団体・企業などの主体、市内・市外の居住・拠点地域、若年層・シニア層など、属性に制限なく、福津市のまちづくりに興味・関心のあるすべての人材と定義